

教材教具名	返事グッズ (代替コミュニケーショングッズ)	分類	その他 - 授業
		授業名	朝の会、帰りの会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や帰りの会で代替コミュニケーショングッズを使って返事をする事ができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 出席のときや下校の確認のときなど、名前が呼ばれたときにボールを容器の中に入れて音を鳴らす。(=返事をする)

<工夫点>

- 朝の会など集団の授業に参加することが難しい生徒に、物を容器に入れる本人ができる動きを取り入れたグッズを用意した。

<効果>

- 朝の会や帰りの会で返事をする事ができ、参加する場面が増えた。

教材教員名	フルーツケーキを作ろう	分類	その他 — 授業
		授業名	生活 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手で果物の模型を取り、ケーキにつけることができる。 • 友達や教員と一緒に活動することができる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 木に果物の模型を付け、手で取る。
- 果物の模型をケーキに貼り付ける。

<工夫点>

- 果物の模型を手で取りやすい大きさにした。(土台 1.5m×1m) (果物 約 20cm)
- マジックテープを使用し、もぎ取る感覚を味わえるようにした。
- ケーキのどこでもつけやすいように、貼りやすい布(トイクロス)を使用した。

<効果>

- 果物の模型に興味を示し、楽しんでケーキに取り付けることができた。

教材教具名	机拭き練習セット	分類	その他 — 授業
		授業名	生活 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 机の汚れを意識して拭くことができる。 • 正しい拭き方を意識してふくことができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- PP シートに水で落とせるクレヨンで汚れをつけておく。汚れを意識しながらシートの汚れをふき取り、きれいになったか確認する。
- 実態に合わせ、手順シートや袋雑巾を使用する。

<工夫点>

- 透明のシートに汚れをつけ拭きとることできれいになったことを視覚的にわかりやすくした。
- 雑巾をたたんで拭くことが難しい児童には、袋雑巾を使用した。

<効果>

- 汚れを意識して落とすことができる。

教材教員名	手順書	分類	その他 — 授業
		授業名	美術 (高等部)
ねらい	・作品の制作手順や、道具の扱いについて、視覚的な支援をするため		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

・生徒の実態に合わせ、制作の手順書を用意。制作が進むごとに、ページをめくって次の工程に取り掛かれるようにする。

<工夫点>

・イラストや擬音を使い、生徒に親しみやすく、分かりやすい内容にした。

<効果>

・手順書により見通しを立てて制作に取り組むことができた。

教材教員名	道具の注意書き	分類	その他 — 授業
		授業名	美術 (高等部)
ねらい	・道具の扱いについて、視覚的な支援をするため		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・制作を始める前に、授業で使う道具の安全な扱い方について、イラストを見ながら確認をする。

<工夫点>

- ・イラストや擬音を使い、生徒に親しみやすく、分かりやすい内容にした。

<効果>

- ・絵を見ながら道具の安全な扱いについて生徒と確認をする事ができた。

教材教具名	布の種類あてハテナBOX	分類	その他 — 授業
		授業名	家庭科：家庭生活（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯表示を学習するために、布の名前や特徴を実際にさわることによって実感として覚える。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 実物をさわりながら布の特徴をプリントにまとめる。
- ハテナBOXの中の布の種類を手触りだけで当てる。選択肢のカードを使って答える。
- 洗濯表示のカルタとりを行う。
- 自分の着ている衣類の布の種類や洗濯表示を確認する。

<工夫点>

- グループ対抗のゲーム形式にして、楽しく学習できるようにした。
- 布の名前をすぐに覚えることは難しいのでカードを出して答えるようにした。

<効果>

- 布の種類あてに興味を持って取り組むことができた。

教材教員名	紙ちぎりのおとも	分類	その他 — 授業
		授業名	作業・紙工班（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 紙を一定の小ささまでちぎる。 手もとをみて作業を継続する。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 牛乳パックのラミネートをはがし終えた部分を（ミキサーに入れるため）ちぎる工程で使う。
- 紙がたまったらフタをあけて出す。

<工夫点>

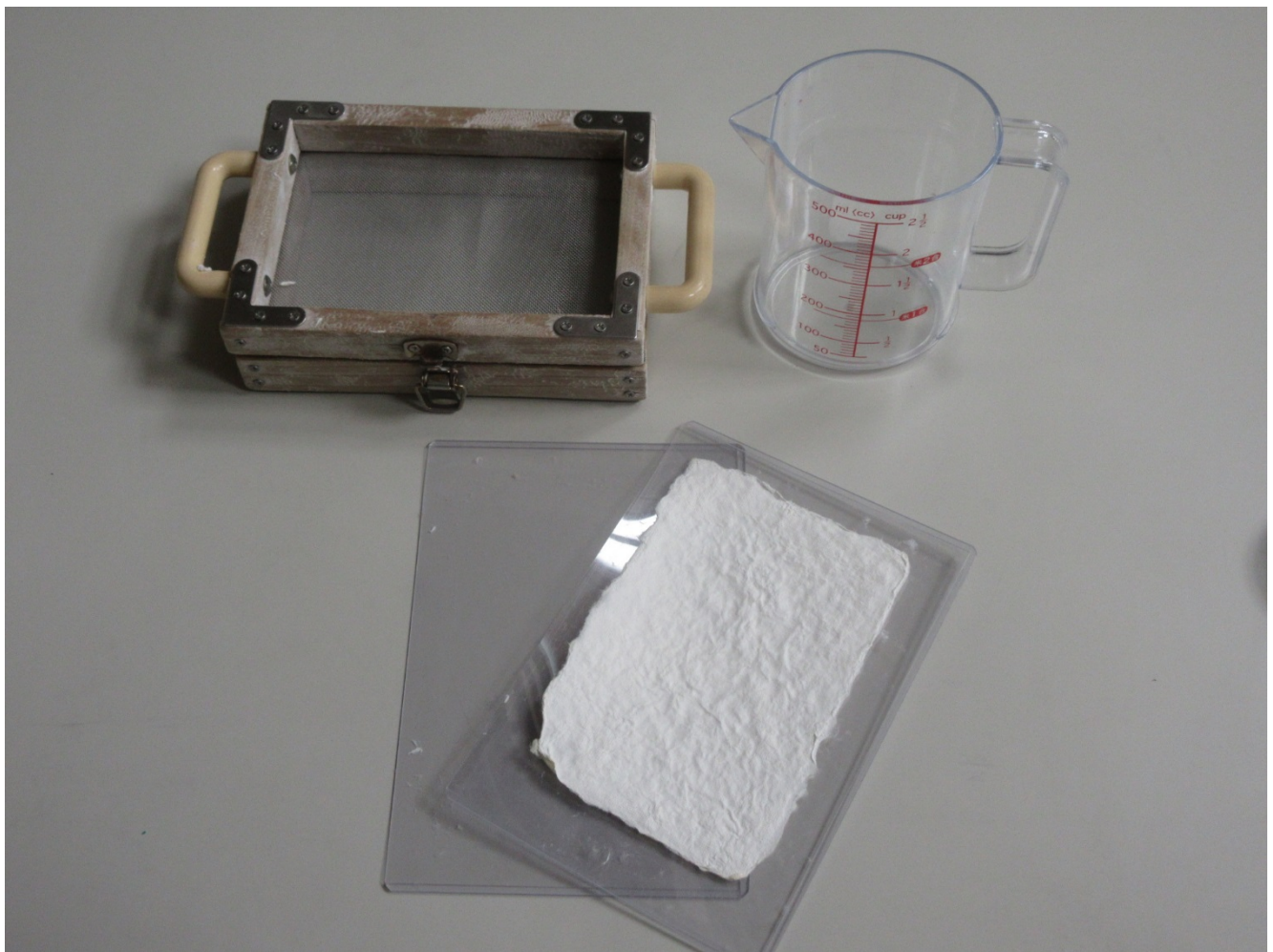
- 穴はホットカッターであけた。
- 中に100円ショップのお風呂のおもちゃを入れることで、紙が重なっていくことがわかりやすいようにした。

<効果>

- ちぎる大きさがわかりにくい場合や、砕や製氷皿に入れていく方法がわかりにくい場合に、紙を細くしてわたすと集中して紙ちぎりができた。

教材教具名	紙すき（簡単仕様）	分類	その他 — 授業
		授業名	作業・紙工班（高等部）
ねらい	・失敗しにくい紙すきの工程にし、生徒が取り組みやすいようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・別紙。

<工夫点>

- ・パルプ液の中へ枠を入れてゆすって紙すきをしたり、タオルでおさえて別の場所へ貼りつけるといった工程を省いた。

<効果>

- ・手順が少ないので生徒が流れを理解しやすくなった。

教材教員名	板マグネットでステンシル	分類	その他 - 授業
		授業名	作業・紙工班（高等部）
ねらい	・紙がずれないで自分だけでステンシルができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・はがきをはさんでステンシルをする。

<工夫点>

- ・板マグネットは2枚あわせるとぴたっとくる位置があるのでそこにあわせてカットした。
- ・ステンシルのインクは、スポンジにしみたものがいちばんきれいに仕上がる。
- ・ステンシルのスポンジペンはボロボロになったらファンデーションスポンジをつける。
(※今はつけていません)

<効果>

- ・自分だけでできるようになった。

教材教員名	部品分類皿	分類	その他 - 授業
		授業名	校内実習（高等部）
ねらい	・プレ実習の部品分解の仕事を生徒が正確に自分で行う。（教員も点検しやすく）		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・分解した部品を金属の種類によって分類し、数もチェックする。皿ごと 分類別の箱へ入れる。

<工夫点>

- ・分解する物は毎回の実習で変わってくるので なるべく簡単に作り、次の実習で作りなおせるようにした。
- ・さらに紙を貼る時に立つように端を折った。生徒が自分の使う物を作った。

<効果>

- ・生徒自身が紙を貼って準備することでやり方を確認できた。
- ・手順のプリントも用意したが、すぐに皿だけでほとんどの生徒ができるようになった。